



## 🔔 陽の恵みのもとにフェスタ '17 開催

11月11日（土）12日（日）に開催されたフェスタ '17は、受講生たちが作った不思議の国のアリスの登場人物たちがいるバルーンのアーチで来場者を温かく迎えました。

フェスタ講演会は東京理科大学理数教育研究センター長の秋山仁先生がトレードマークのバンダナ姿で登場。会場一杯の参加者は紙の輪を作ったり、鋏を使ったりの体験に懸命に取り組みました。紙でできた正四面体の表面を、頂点を通るように自由に切り開いてできる展開図を並べると、どんな形でも必ずタイル張りのように隙間なく平面に敷き詰められるという、「正四面体タイル定理」が目の前で展開され、会場からはどよめきの声が…。くらしの中に数学の定理を見出ししていくユーモアに満ちた先生のお話、終始笑いとおどろきに溢れた講演会になりました。

ハイライトのひとつはフェスタ de コンサートに住吉小学校の子どもたちが初出演したこと！ 堂々としたトーンチャイムの演奏にひととき大きな拍手が送られました。最後に行われた出演団体・グループが一緒になっての合唱・合奏は、すばらしいひとときになりました。

また、受講生による「環境とみどりの展示」、「公開グループ討論と展示」、「油彩と水彩の作品展」、「道元がテーマの講演会と映画上映」など工夫を凝らした企画が繰り広げられました。

ここでお伝えできなかった充実したイベントの数々は2頁に。



講演中の秋山仁先生

# 藤嶋 昭理事長 文化勲章受章 記念 祝賀会開催のご案内

日時: 12月 5日(火)

I部 講演会（藤嶋理事長） プラザ 401 教室 16:00～17:00  
先着 120名 受講料 無料

II部 祝賀会（精養軒） 会費 7,000円 17:30～19:30

申し込み・問い合わせ先

NPO 法人かわさき市民アカデミー 事務局 受賞記念祝賀会担当

電話 044-733-5590 ホームページ <http://npoacademy.jp/>

# フェスタ写真集



玄関前  
初バルーンアートで  
お出迎えます



地場産野菜販売  
開店前から長蛇の列でした



千々和先生の生け花



日本舞踊 扇乃会



くちぶえ  
ふけます？

くちぶえ奏者 りょうすけ

アンサンブル Kiratto☆  
ママたちキラキラ輝いていました



ダッグエッグで作る  
クリスマスオーナメント



真剣です！

チョークアート



エッグポマダー

ポプリの香りに癒されました



トーンチャイム  
住吉小の子どもたち



ワクワク  
おもしろ大実験



環境とみどり



フェスタ  
De  
コンサート



日本橋散策



道元の世界



熟議 公開グループ討論  
情報公開について議論しました



いろいろとご協力いただき  
ありがとうございました。



## 📍話題の講座・WSのご紹介

### 講座7 日本の伝統芸能 - 日本の「音」を考える -

代表世話人 重藤 和義

ぜひ一度演奏会にお越し下さい。心の奥に眠っていた貴方の共鳴筐が響き始めるかもしれません。今期は12/11「津軽三味線を聴く」、1/22「和楽器の響き…箏・尺八・三味線」、2/5「ガムラン演奏と舞踊」と、3回あります。受講生でなくてもOK（資料代千円）です。私たちの世代、学校で習った「音楽」は殆ど「西洋音楽」でしたね。

文明開化の「脱亜入欧」に始まり、敗戦が更に拍車をかけました。でも日本語を話す私たちの心の底には固有の音感が絶えることなく流れています。それは歌謡曲にもJ-POPにも、そして日本のクラシック音楽家の演奏にさえ流れています。その「流れ」とはどんなものだったのでしょうか、そしてどんな未来に向かうのでしょうか。この講座は、そんな「日本（人）の音」を廻って考えるシリーズです。（写真：洗足学園現代邦楽研究所長 森重行敏先生）



## 📍代表世話人のご紹介

### 講座10 日本史コース「代表世話人をつとめて」

代表世話人 浜島 輝巨

アカデミーの人気講座日本史の代表世話人浜島さんは、9年間講座運営に尽力されてきました。日ごろ心がけていることをお聞きました。

「日本史コースでは、講師の講義による講座と、参加型のゼミ方式によるワークショップを開講しています。学習の時代やテーマの選定には、コーディネーターの先生を囲んで世話人幹事の皆さんと協議して決める様にしています。

お蔭様で、先生も私共の意向をよく汲み取ってくださり、また世話人の皆さんの協力を仰ぎ、毎回多くの応募をみる講座・WSを開催できていることに感謝しています。当アカデミーの開講時からの標語である『学ぶ喜び、深まる生き方（この点は小生、チョット自信ありませんが）、広がる友の輪』を基本スタンスに努めてまいりますので、宜しくお願い致します。（理事 阿部秀一記）



野外学習時のスナップ

## 📍講師のご紹介

### 講座29 映像・メディア「私が愛した放送番組」「日本劇映画」

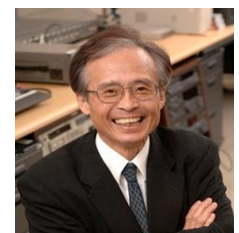
コーディネーター兼講師 林 勝彦 先生

林先生は2014年後期よりコーディネーター兼講師としてアカデミーにご尽力いただいています。元NHKプロデューサー、東京大学先端科学技術研究センター客員教授等を歴任され、現在サイエンス映像学会副会長であり、監督として自主映画を製作中と幅広く活躍されておられます。学生時代ワグネルフォーゲル部で鍛えられたせいかよく通る声でとても聞きやすい講座です。

当講座はNHKスペシャル「人体」や「原子力問題」等ハードなテーマを中心に先生自ら講師を務めていただいています。一方、ソフトなテーマについては幅広い人脈を活用され最適な講師をお招きいただいています。

取り上げるテーマは受講生の希望が反映されています。当講座の定員は72名ですが今期は定員を超える応募者があり初めて抽選になりました。

来期も多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。（世話人 吉田成穂 記）



林 勝彦 先生

## 🏠 かわさき市民アカデミーの変遷—シリーズその2—

### アカデミー沿革史(抜粋)

#### 1993年

9月:アカデミー設立(学長 高橋清川崎市長、学長代行 篠原一東大名誉教授)

10月:かわさき市民アカデミー開講  
(受講生 550名)

#### 1995年

4月:川崎市中小企業・婦人会館に専用教室

9月:第1回修了式(修了生 49名)

10月:第1回学園祭(新百合 21ビル)

#### 1998年

10月:生涯学習プラザに移転

#### 2002年

10月:後期開講(前後期合わせた受講生 5237名)

### ＜アカデミー開学の頃を振り返って＞

長い間アカデミーの講座を受講し、アカデミーの運営にも携わった方々に、開学当時の様子をうかがいました。

『アカデミーの会場が一か所に固定するまでの間は、教室を確保するのが大変でした。そのため教室もあちこちに分散して、講座や演習(当時はワークショップをこう呼んでいました)が行われていました。それでも講座や演習の数が今ほど多くなかったので、何とか教室を確保できたのです。

アカデミーの運営は、川崎市の事業として全て市の予算で行われていました。講座の運営も、市の生涯学習財団職員と相談員(学校長OB)の手で行われ、今のように受講生が直接関わることはありませんでした。またアカデミーのカリキュラムはもちろん、経営方針も篠原先生を中心とした先生方が主体となって、作成していました。

市の事業として行われていたため、ある面では市の意向が強く示されました。学習期間は2年間で基本とされ

(2年会員のはじまり)、修了後は学習成果を地域に還元することが求められました。そのため、川崎という地域を知ることが目的とした「川崎学」が作られ、社会活動への参加と共に必修科目とされました。

開学当時は、政治や経済講座を受講する人が多く、401の大教室が一杯になるほどでした。反対に、今は抽選になるほど受講者が多い歴史講座の受講生が、少なかったこともこの時期の特徴です。

先生方も、誕生したばかりのアカデミーと、そこに集う受講生を育てたいという熱意を持って、講義に臨んでいることが感じられました。その中で、江藤文夫先生の講義が印象に残っています。先生は、プロである新劇の俳優に朗読させながら講義をされ、文学における表現とは何かということの説明されました。このアカデミーに賭けてみようという、江藤先生の熱意が伝わって来る名講義でした。』

### 編集後記

- ◆先月は65号発行の後、あまり意味の感じられない壮大な無駄遣いの総選挙、超大型で非常に強い台風の襲来と、人災天災続きでした。
- ◆今月は、藤嶋理事長の文化勲章受章のうれしいニュースに続き、アカデミー恒例のフェスタが開催されました。知恵を絞って楽しいフェスタを準備された皆さんには頭が下がります。「アカデミーの変遷」シリーズの中でも触れていこうと思っています。
- ◆来期のカリキュラム編成に向けコーディネーター・担当理事・世話人の皆さんには大変なシーズンです。充実した講座・ワークショップを受講生全員でお待ちしましょう。

編集委員

### 認定 NPO 法人

### かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話:044-733-5590

FAX: 044-722-5761

問合せメールアドレス:

info@npoacademy.jp

ホームページ:

http://npoacademy.jp/